

新入生の皆さんへ

## 『知的生産活動を支援する情報発信型図書館』

図書館長 下村 秀則



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大きな希望と新たな決意をもって大学生活の第一歩を踏み出されたことと思います。いよいよこれから待ち望んでいた本格的な勉強が始まりますね。大学受験をめざしてひたすら教科書や問題集に取り組んでいたこれまでの勉強とは異なり、大学では自ら問題意識を持って課題を発見し、それに挑戦することが求められます。それに伴ってリサーチやプレゼンテーションの機会も増えてきます。

その際に、さまざまな課題についての情報を得る手段として、インターネットを利用することが多くなるでしょう。ネット検索を用いると、世界中から必要な情報を瞬時に入手することができて大変便利です。しかし、ネット上の情報は、発信源が不明なものや、内容的に正確さや信頼性に欠けるものもあり、また、情報量としては多くても、検索でヒットした内容に限られるなど、その内容について他の手段で確認したり補ったりする必要が生じます。

膨大な量のネット情報の中から適切な情報を引き出して活用するためには、その前提として、情報の真偽を見極める力や、広い視野に立って問題の本質を的確に把握し妥当な判断を下す力が極めて大切になります。こういった力やバランスのとれた知識を身につけるためには、やはり時空を超えて読み継がれてきた古今東西の書物を抜きに語ることは出来ません。

もちろん、皆さんの中には、将来役に立つ情報や知識を身につけるだけでなく、多くの書物を通して人生の指針や生きる知恵を身につけたいとか、豊かな人生を歩むための心の糧を得たいと思っている人もいることでしょう。

そういった皆さんのさまざまな要望に応え、教育・研究上の知的生産活動を支えているのが、まさしく大学図書館なのです。ここでは、紹介かたがた簡単に本学図書館の特色について二三触れてみたいと思います。

まず、本学図書館は、本館（7号館）とアジア

関係図書館（9号館）からなっています。所蔵する図書は51万冊を超え、学術雑誌は約4,000種（継続中のものは約2,480種）に及んでいます。まさしく、知識の宝庫です。外国語大学にふさわしく、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、中国語、日本語、イタリア語などの専攻言語をはじめ、ロシア語、アラビア語、オランダ語など、多岐にわたる言語圏の言語・文化・地域研究のための資料が豊富に集められています。大学図書館を最大限に活用し、実りある豊かな知的生産活動を営むための第一歩として、一人でも多くの人に新入生歓迎ライブラリー・ツアーに参加していただきたいと願っています。

次に紹介するのは、本学図書館が独自に作成している蔵書の主題別データベースです。これは、利用者の皆さんがより効率的に目当ての本を探し出すことができるように、言語・地域研究関連、世界文学関連、日本文学関連、授業対応関連など12のカテゴリー別に、30を超える主題について作成された本学図書館独自の図書検索データベースです。中をのぞいてみると、「世界の言語と国際地域研究」「あなたに役立つ言語圏別資料検索」「世界の言語資料を探る」「今、日本と世界は」「世界を感動させた作家たち」「国別にみる児童文学」「世界で読まれる源氏物語」「世界に広がる赤毛のアン」「論文・レポートなどを書くための資料DB」など、興味深いテーマに沿ってすぐに役立つデータベースが作成してあります。皆さんの自宅からでも本学図書館ホームページを通して手軽にご利用いただけます。

この他に、本学図書館には世界の貴重書が数多く所蔵されています。それらについては、図書館ホームページの「スペシャル・コレクション」を開いて、どのようなものがあるのか是非ともご覧になって下さい。折々に展示会を通してご覧いただく予定です。

しもむら ひでのり（教授・英語教育）